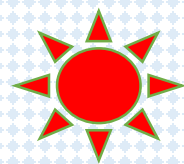


実施報告書



(鹿児島家庭裁判所)

令和元年9月13日(金), 鹿児島家庭裁判所において開催された, 家庭裁判所調査官インターンシップ。初めての実施となった今年度は, 6名の学生の皆さんにお集まりいただきました!

当日の様子についてご紹介していきたいと思います。



9:45~9:50
【オリエンテーション】

首席家裁調査官から挨拶を行いました。緊張した面持ちの学生に対し, 今回が鹿児島家庭裁判所における第1回目の実施であることや, 楽しみながら, 積極的に参加してもらいたいことを伝えました。

9:50~10:10
【調査官の仕事(講義)】

現役の家裁調査官から, 裁判所全体の構成を始め, 家庭裁判所の概要や家裁調査官の役割などの説明をしました。参加者の皆さんには, 家裁調査官の充実した研修制度などに興味をもっていただけただようでした。



10:10~10:45【庁舎見学】

家裁調査官が実際に使用している部屋(少年審判廷, 児童室, 調停室など)を見学しました。少年審判廷では, 部屋の構造について質問が出るなど, 皆さん少年事件に興味津々の様子でした。

家事事件や家裁調査官が行う調査について講義を行った後, 家事事件の架空事例を用いて業務体験をしていただきました。

事例をもとに, 子供にとって望ましい解決などについて, 進行役の家裁調査官とともにグループ討議を行いました。

参加者同士の活発な意見交換が行われ, 充実した討議になりました。

10:45~12:05
【家事事件と子どもの調査】



★ 午後 の 部 ★

13:00~15:35【事例検討（少年事件）】

午後は、家裁調査官の少年事件への関与についての講義と、架空の少年事件を題材とした事例検討を行いました。講義では、家裁調査官が少年事件に取り組む上で大切にしている視点や知見などをご紹介しました。事例検討では、参加者の皆さんに、家裁調査官になったつもりで少年が非行に至った背景要因や調査で明らかにしたいことを考え、それを基に調査面接場面を想定したロールプレイを実施しました。さらに、少年に必要な処分についてもグループで検討し、発表してもらいました。



15:45~16:00
【裁判官からのコメント】

事例検討について、裁判官からコメントしました。事例は、非常に難しい内容でしたが、各班の進行役のサポートもあり、有意義で活発な討議が行われました。ロールプレイは参加者からも好評でした。

座 談 会

最後に、座談会を行いました。座談会では、鹿児島家庭裁判所の若手からベテランの家裁調査官まで加わり、参加者の様々な質問（家裁調査官を志望した理由や転勤など）にお答えしました。参加者の皆さんからは、インターンシップを通じて「裁判所や家裁調査官に対して堅いイメージがあったが、柔らかくて利用しやすいイメージに変わった。」との感想をいただきました。



参加者の感想

人の将来を
考える職場
だと思った。

実際に調査の一
部を体験できて
良かった。

座談会ではとても
有意義な話を聞く
ことができた。



ご参加ありがと
うございました。